

2月から5年生前期の授業が始まります。5年灘選抜 web では、「テーマ別読解演習」と「入試問題研究」の2本立てで行います。

「テーマ別読解演習」では、入試問題でよく出題されるテーマを連続して学習します。説明文では、「動植物」「自然・環境」「科学文明」、物語文では「家族」「友情」で、これらのテーマに関してよく出題される設問を多く学習することができます。

「入試問題研究」では、実際の入試問題を、入試本番と同じ時間設定で解き、そのあと解説の動画を見て確認するという流れになります。入試問題全体を見渡し、難しそうな問題を後回しにしたり、時間配分に注意したりなどして実戦的な学習を行います。

文章を読むときの注意点

文章を読むときは、ただ漫然と文章を読むのではなく、説明文であれば、話題や筆者の主張や具体例、また物語文であれば、場面や登場人物の心情などに注意して読むことが大切です。どのような点に気をつけて文章を読めば良いのかを動画で確認してください。動画の中で難しい言葉の意味を説明したり、文章の内容を説明したりしています。その説明を見て、読解の仕方を身につけていくようにしましょう。

毎回のテキストの構成

「テーマ別読解演習」… 文章題が3題あり、そのうち2題を動画で解説しています。1題あたり20分から25分くらいで解いてください。動画では文章内容の説明をしたあと、1問ごとに設問の解説をしていきます。答えにいたるまでの解きすじをしっかりと聞いて定着させてください。残り1題は宿題用で動画はありませんが、解答に解説がついていますので、答え合わせのあと、確認しておきましょう。

答えはすべてノートに書きこみましょう。間違えた問題は赤できちんと直すことが大切です。そのとき、最初に書いた答えを消さないよう、自分の書いた答えの横に新たな答えを書くなど、自分がどのような間違いをしたのか、どのように直してマルとなったのかがはっきりとわかるようにしてください。

「入試問題研究」… 時間を計って入試問題をそのまま解きます。答えはすべて解答用紙に書きこんでください。動画をみながら、必要に応じてメモをとるために、「テーマ別読解演習」で使っているノートを用意しましょう。「入試問題研究」にも宿題用の教材がありますので、やっておきましょう。

動画視聴時のお願い

まず「導入」を見てください。この動画では、何分で解いたらいいか、どんなことに気をつけてほしいかの導入をしています。その後問題を解いていただいて、再び動画を見てください。まず、文章を判読しながら文章の内容を説明します。次に設問1問ずつの解説という流れになっています。

◆第1回 テーマ別読解演習「動植物」①／説明文

説明文の学習では、話題、筆者の主張、具体例、段落構成を意識して取り組んでください。特に注意してほしい問題は、以下の通りです。

- ⊙ 問二 話題をおさえる問題です。この生き物についての生態の特徴を読み取ります。
問五 比喩表現の具体化の問題です。傍線部だけでなく、その前後をよく読んで考えましょう。
問七 共存関係についてしっかりおさえましょう。
- ㊦ 問二 接続語の問題です。空らんの前後のつながりを確かめましょう。
問五 具体化の問題です。「厄介な」の部分をうまく説明しましょう。
問八 筆者の主張に関する記述問題です。比喩的表現になっていて難しいかもしれませんが、がんばって解いてみましょう。
- 宿題 問七 文章構成の問題です。それぞれの段落の内容をおさえて考えましょう。
問九 筆者の主張を空欄補充で埋める形式の問題です。キーワードとして何度も使われた言葉に注意しましょう。

◆第2回 テーマ別読解演習「動植物」②／説明文

前回に続き、説明文の学習では、話題、筆者の主張、具体例、段落構成を意識して取り組んでください。特に注意してほしい問題は、以下の通りです。

- ⊙ 問六 二つの空らんが近くにある場合は、対比する内容をあてはめることが多くあります。
問八 文章構成の問題は、各段落の内容をおさえて考えるようにしてください。
問九 筆者の主張をしっかりと覚えてください。
- ㊦ 問二 傍線部の次の段落が具体例、そして次の段落がまとめになっています。文脈を意識してください。
問四 内容を具体化する問題です。じっくり取り組んでください。
問五 筆者の主張に関する問題です。
- 宿題 問二 具体化をしてから抽象化する問題です。
問五 「慎重」の意味をおさえてから書いてみましょう。

◆第3回 テーマ別読解演習「動植物」③／説明文

前回に続き、説明文の学習では、話題、筆者の主張、具体例、段落構成を意識して取り組んでください。特に注意してほしい問題は、以下の通りです。

- ⊙ 問二 指示語の問題は、まず傍線部の後ろを読み、それを手がかりに傍線部の前を読んで考えましょう。
問四 内容の具体化の問題です。答える時、「矛盾」の内容になっているかを確かめましょう。
問七 正誤問題は、本文の内容を照らし合わせるようにしましょう。
- ㊦ 問六 違いを説明するときは、「Aは～だが、Bは～」という形式で書いてみましょう。「～」の

部分には、「A」・「B」それぞれの特徴を書きましょう。

問七 内容を具体化する問題です。じっくり取り組んでください。

問八 問われていることを明確にしてから記述に取り組みましょう。

宿題 問七 正誤問題は、本文の内容を照らし合わせるようにしましょう。

問八 文章構成の問題は、各段落の内容をおさえて考えるようにしてください。

◆第4回 テーマ別読解演習「家族」①／物語文

物語文の学習では、場面や登場人物の心情の変化に着目し、主題をおさえましょう。「家族」のテーマでは、家族の心のつながりが問われます。特に注意してほしい問題は、以下の通りです。

㊦ 問三 象徴の問題です。ここで「カップ焼きそば」がどんなことを表しているか考えましょう。

問五 問三と関連のある問題になっています。

問七 文章の出来事（あらすじ）をしっかりとおさえてから書くようにしましょう。

㊦ 問二 傍線部の「しかめっ面」や「きょとんと」など、心情を表す言葉の意味を確かめて選ぶようにしましょう。

問七 主題に関する問題です。「領いた」が「受け入れた」という意味を含んでいます。

問八 象徴の問題です。「卵」・「緒」がそれぞれどんなことを言おうとしているのかおさえてください。

宿題 問五 傍線部の「目をそらさない」という表現がどんなことを表そうとしているのかをおさえましょう。

問六 登場人物の性格をおさえる問題です。性格は、会話・口調・表情・様子・行動・動作などから類推するようにしてみましょう。

いよいよ2月から新5年生の学習を進めていきます。この講座は、日能研本科教室カリキュラムがベースになっています。本科教室で学んだことを深めることを目的にした講座となりますので、大切なことは、「本科教室をしっかりと理解した上で受講すること」です。この基礎にあたる部分を大切に、取り組むようにしてください。

動画の構成としては、まずは「例題」が各回3～4題収録されています。例題は動画を見ながら解法の手がかりとなる考え方を習得してください。例題の次には、練習問題として、例題の数値替えの問題が収録されています。機械的に数値を入れ替えて答えを出すのではなく、もう一度解法を確認しながら取り組むようにしてください。練成問題は、例題から派生した問題を中心に収録しています。このうち、例題から少し離れるタイプのうち、特に重要なものを動画で扱っています。

2月は、5年生の学習がスタートしていませんので、4年生時に学習した単元を中心に深めています。各回の学習の目安は以下の通りです。

◆第1回 立体図形

直線からなる立体図形の求積がテーマです。体積は、立体を重ねて置いても変わりませんが、表面積は変化していきます。この感覚を身につけることが大切です。難しい単元ですが、ある一方向から見ると、どのように見えるのかという発想をもって取り組んでいきましょう。

① 「例題と練習問題」

例題1－直方体から直方体を取り除く。

表面積は、もとの直方体と変わらないことを理解してください。

例題2－直方体から直方体をくりぬく。

表面積は、もとの直方体と変わりますね。もとの直方体から減る量と増える量を確認しながら取り組んでください。

例題3－小立方体の積み上げ。

表面積は、3方向から見た図をかいてから、取り組むようにしてください。

例題4－直方を底面に平行に切断する。

立体をバラバラにした図をイメージするのではなく、「1回切断すると、どのように表面積が変化するのか」という視点で取り組みましょう。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

②「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。

◆第2回 場合の数

「カード並べ」と「図形と場合の数」がテーマです。「カード並べ」ではまず、どんなカードがあり、何けたの整数をつくるのかを、確認しておきましょう。また樹形図を利用することで、規則が見えてくることもあります。「図形と場合の数」では、基準を明確にすることが大切です。問われている図形は何種類できるのか、それぞれ何個できるのかを意識しながら取り組んでいきましょう。

①「例題と練習問題」

例題1－**0**のカードが含まれている。

0のカードは千の位に使うことはできませんね。区別をして取り組んでいきましょう。

例題2－同じカードが含まれている。

同じ数のカードが2枚あると、できる4けたの整数は重複することになりますね。規則正しく並ぶわけではないので、注意して取り組んでいきましょう。

例題3－図形と場合の数

全部で5種類の正方形ができますね。あとは、それぞれ何個あるかを考えていきましょう。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

②「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。

◆第3回 文章題Ⅰ～平均算～

「平均算」がテーマです。「平均＝合計÷個数」「合計＝平均×個数」「個数＝合計÷平均」の3つの用法を理解して取り組みましょう。また面積図を利用することで、正解にたどり着く問題もありますので、上手く利用しながら取り組んでいきましょう。

①「例題と練習問題」

例題 1－平均の基本

「平均＝合計÷個数」の式を意識することで、方向が見えてきますね。小数計算にも注意が必要になります。

例題 2－要素に分割

平均ではなく合計で考える問題です。そのときに、この合計はどの要素の組み合わせなのかを意識して取り組んでいきましょう。

例題 3－面積図の利用

平均とは、「平らに^{ならす}均す」ことです。これを図形的に表したものが面積図ですね。どの部分とどの部分が等しいのかを理解しながら取り組んでいきましょう。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

②「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。

◆第 4 回 文章題Ⅱ～つるかめ算～

「つるかめ算」がテーマです。「つるかめ算」の基本の考え方は「極端な場合を考える」です。そこから、「1つ変化させると、全体はどう変化するのか」を表や面積図を利用しながら取り組んでいきましょう。難度が高くなると、つるかめ算単独での出題だけでなく、他分野との融合もされます。今のうちにしっかりと理解を深めましょう。

①「例題と練習問題」

例題 1－つるかめ算の基本

例題では「すべてカブトムシだとしたら・・・」からスタートしています。余裕があれば「すべてクモだとしたら・・・」からスタートして取り組んでみましょう。

例題 2－損失のあるつるかめ算

考え方はつるかめ算と同じですが、「1個こわすと5円もらえないばかりか、さらに30円弁償する」ことになるので、一気に $5 + 30 = 35$ 円変化します。この部分に注意しながら、取り組んでいきましょう。

例題 3－3種類のつるかめ算

考え方はつるかめ算と同じですが、「つるの数はかめの数の3倍」であることに注意してください。集中力を切らせることなく、取り組んでいきましょう。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

②「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。